


# CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

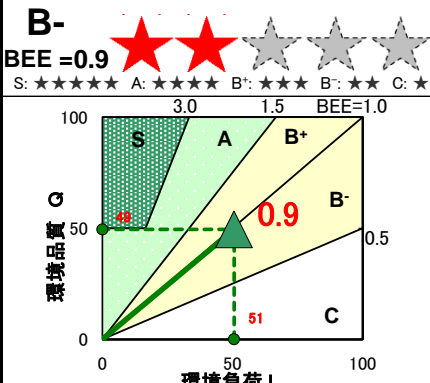
大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)VPO北久宝寺		
建設地	中央区北久宝寺町4丁目		
建築用途	事務所一部店舗		
建築主	清水総合開発(株)		
設計者	(株)IAO竹田設計		
敷地面積	597.72 m <sup>2</sup>		
建築面積	403.48 m <sup>2</sup>		
延床面積	3,807.76 m <sup>2</sup>		
構造/階数	S造 / 地上10階		
完了年(予定)	2021年10月		

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

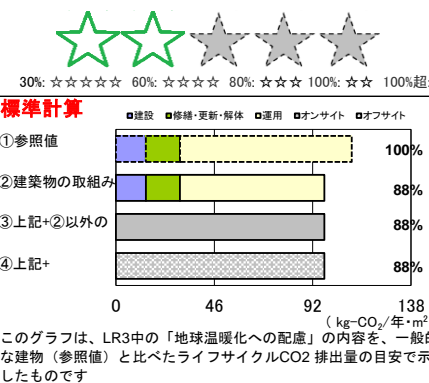
**B-**  
BEE=0.9



環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

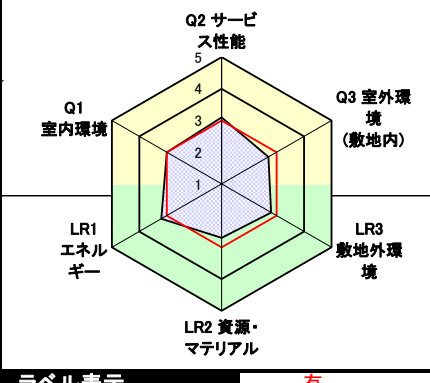
標準計算



①参照値: 100%  
②建築物の取組み: 88%  
③上記+②以外の: 88%  
④上記+: 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



Q1 室内環境: 3.0  
Q2 サービス性能: 3.1  
Q3 室外環境(敷地内): 2.7  
LR1 エネルギー: 3.2  
LR2 資源・マテリアル: 2.7  
LR3 敷地外環境: 2.8

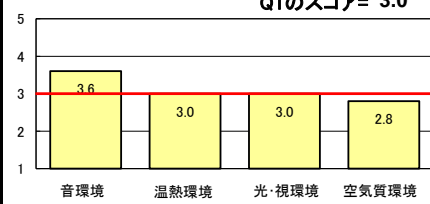
ラベル表示: **有**

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

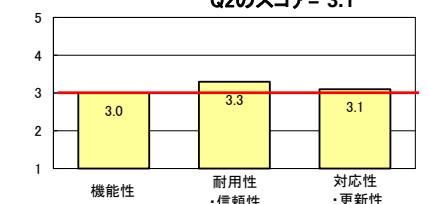
Q1のスコア= 3.0



音環境: 3.6, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 2.8

#### Q2 サービス性能

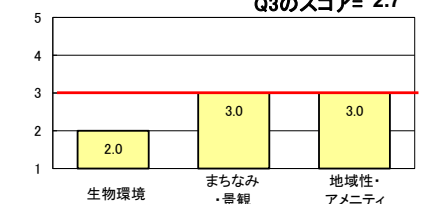
Q2のスコア= 3.1



機能性: 3.0, 耐用性・信頼性: 3.3, 対応性・更新性: 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7



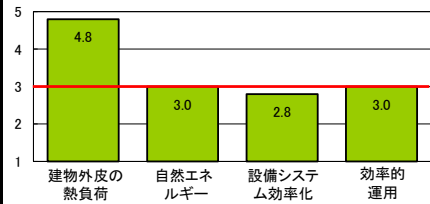
生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 3.0, 地域性・アメニティ: 3.0

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

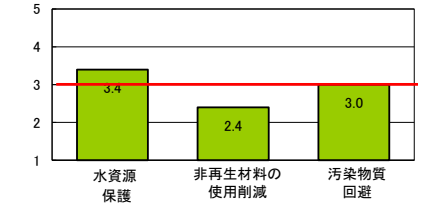
LR1のスコア= 3.2



建物外皮の熱負荷: 4.8, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 2.8, 効率的運用: 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

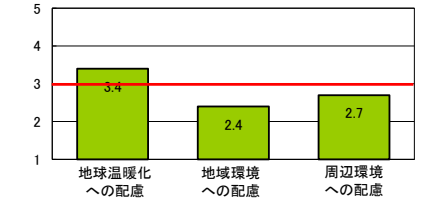
LR2のスコア= 2.7



水資源保護: 3.4, 非再生材料の使用削減: 2.4, 汚染物質回避: 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8



地球温暖化への配慮: 3.4, 地域環境への配慮: 2.4, 周辺環境への配慮: 2.7

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
前面道路沿いに植栽を配置し、周辺環境との調和に配慮した。	特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 窓を大きくとり、積極的に屋光活用できるように配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 出来る限りの緑地を確保し、敷地内の気温の上昇を抑えるよう配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を採用するなど省エネルギー性に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 南・東道路沿いに植栽を配置し、通り沿いの環境に配慮した。
<b>Q2 サービス性能</b> 屋上に設備機器をまとめることで、メンテナンスを行いやすいよう配慮した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 可能な限り乾式工法を選定し、将来的な部材の再利用を高めるよう計画を行った。	

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = **0.9**

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		<b>3.0</b>
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率88%とした。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		<b>2.0</b>
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	出来る限りの緑地を確保し、敷地内の気温の上昇を抑えるよう配慮した。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		<b>5.0</b>
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.8
配慮事項	BPI <sub>m</sub> =0.82とした。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		<b>3.0</b>
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.8
配慮事項	LED照明を採用するなど省エネルギー性に配慮した。	

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEI<sub>m</sub>が1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEI<sub>m</sub>が1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]	
	- (相当)	0.82	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI <sub>m</sub> ]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ]
	0.84	-	0.84



## 再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

<b>1 設備導入の検討</b>																
① 周辺環境の把握																
② 日照条件の検討																
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ（ 40 ） m <input type="checkbox"/> 地上部（ <input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他 ） <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他（ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td>方位（ 東 ）</td> <td>高さ（約 4 ） m</td> <td>水平距離（約 11 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ 西 ）</td> <td>高さ（約 4 ） m</td> <td>水平距離（約 11 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ 南 ）</td> <td>高さ（約 4 ） m</td> <td>水平距離（約 21 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ 北 ）</td> <td>高さ（約 4 ） m</td> <td>水平距離（約 21 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> </table>	方位（ 東 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 11 ） m	方位（ 西 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 11 ） m	方位（ 南 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 21 ） m	方位（ 北 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 21 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位（ 東 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 11 ） m														
方位（ 西 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 11 ） m														
方位（ 南 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 21 ） m														
方位（ 北 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 21 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
ウ 日照の確保（冬至）	<input type="checkbox"/> 十分 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分															
③ 熱需要の条件等の検討																
ア 建築物の用途	事務所一部店舗															
イ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）															
ウ 設置可能面積	（ 0.0 ） m <sup>2</sup>															
エ 概算年間熱利用量	（ 0 ） MJ/年															
オ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし															
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（例：設備用基礎の設置） （ ）															
④ 導入判断																
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない																
導入を見送る理由（複数選択可） <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 日照が確保できない</li> <li><input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない</li> <li><input type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない</li> <li><input type="checkbox"/> 費用負担が大きい</li> <li><input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする</li> <li><input type="checkbox"/> その他（ ）</li> </ul>																
<b>2 導入する設備の概要</b>																
ア 集熱パネル面積	（ ） m <sup>2</sup>															
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年															
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）															
備考																